

市原看護専門学校・看護学科

授業科目名	生物学	担当講師	
開講年次	回生 年次前期	時間数	30 時間
時期	令和 5 年 4 月 7 日~7 月 28 日		
テキスト	なし		
参考図書	講師作成の教材と資料		
目標	1. すべての生物の生命に共通する仕組みを学ぶ。 2. 生物と人間の関連性、生活形態、環境との相互関係、ヒトの労働について考えてみる。		
授 業 概 要			授業形態
医学はヒトについての応用生物学です。医療の分野では、細胞とその集合体としての組織や器官についての現況を構造的に、また機能的に詳しく知り、それを診断・治療に総合的に活用することが能動的に展開されています。更に、正常と異常の瞬時的判断も併せて求められています。その一助として近年では、生化学の進展に伴い、遺伝学領域での発見や先進の技術が導入、多用されて高齢化の詳細な仕組みやその抑制対応に、常に人の健康な状態への回復・復帰や、その維持を意識しつつ活用されています。この講義では、ヒトの様々な変化について知的好奇心を育み、本質と真実を探るための具体例を詳細に多数、詳説します。 授業計画 キーワード 1 初 論 細胞・組織・器官の構造と障害事例概説 誤嚥性肺炎、心房細動の素因など 2 日常生活とヒト 労働 疲労 睡眠とREM 鬱前状態 食事・運動・休養など 3 動物生理 神経細胞と酸素 II型糖尿病 尿酸と血管内皮 クレアチニンと腎機能 4 動物行動 前頭葉 理性 瞬時総合的統合調整 お先にどうぞ！ 痛みや恐怖の交番 5 発 生 iPS細胞(核を4遺伝子でリセット) がん細胞への分裂 テロメア 6 遺 伝 形質と出現率 環境とDNA 変異 発ガン 自然以外には有ってはならないこと 7 進 化 ウイルスの進展的構造変異 ヒト部位結合性・侵襲の差異 新興感染症 8 生 態 利便生活とエコ フィトンチッドとシックハウス 食品アレルギーの増加 9 細胞と薬剤 化学物質の細胞宅配のしくみ 原材料化学物質と肝機能 P450 胆管癌 10 生 化 学 酵素活性と至適温度 アイソザイム 律速因子 生体になぜ酸素が必要か？ 11 化学的不変性と疾患 粉塵と呼吸器 塵肺症 石綿と中皮腫 喫煙粒子と含有物 12 感 染 院内感染防止チェック方法開発 隔離3方式 13 食 中 毒 高精度迅速検査(定量PCR) 原因特定の機関連携 ノロウイルスの謎 14 恒 常 性 自律回帰と逸脱 検査と診断 検査値の評価 個人差 加齢現象 15 ヒトの健やかな日常のために 自律継続的健康管理とセルフメディケーション			講義 DVD

授業科目名	論理学		
時期	令和5年4月11日～7月25日	時間数・単位数	30時間(15回,テスト含む) 1単位
講師名			
テキスト	なし。毎時間、書き込み用プリント・資料を配布します。綴じこんでテキストにしてください。		
参考書	『公文書作成の手引き』千葉県総務部政策法務課 千葉県文書館、『看護記録の書き方』大口祐也 秀和システム、『看護記録の新しい展開』市川・阿部 照林社、『見える記録』大島敏子 監修 日総研、『実践ナースのための看護記録』古橋洋子 学研		
授業概要	PP 及びプリントを基に、質疑応答により授業を進め、プリントは提出してもらいます。 文章作成に関する知識・技能を総合的に習得し、迅速かつ正確・簡潔に記載する能力、記載した内容を第三者にわかりやすく説明する能力、更にはチーム内コミュニケーションを進める能力、こうした能力の向上を図ることを目標とします。 変動する社会にあって、看護職に使命感と誇りを持ち、他者の喜びや悲しみ・苦しみに寄り添いつつ、的確に自己を表現できる看護実践者になること、地域社会に貢献できる看護師として成長していくことを目的とします。		
授業計画	4/11(火) 9:00～10:40 第1回：科目を学習する意義及び学習上の留意点を理解する 4/18(火) 9:00～10:40 第2回：看護師に求められる能力と向上心を確認する。 4/25(火) 9:00～10:40 第3回：言語の習得が必須である理由を理解する。 5/ 2(火) 9:00～10:40 第4回：日本語の歴史と特徴を学ぶ。 5/ 9(火) 9:00～10:40 第5回：文章作成上の基本となる規則を学ぶ 5/16(火) 9:00～10:40 第6回：正確な思考、正しい言語表現を考える プレゼンの原稿用紙を配付します。 5/23(火) 9:00～10:40 第7回：分かりやすい文章を書く上での留意点を理解する。 5/30(火) 9:00～10:40 第8回：文章作成と非認知能力の関係を学ぶ。 6/ 6(火) 9:00～10:40 第9回：職務上での記録の基本・重要性を学ぶ。 6/13(火) 9:00～10:40 第10回：話し言葉での注意すべき事項を学ぶ。 6/20(火) 9:00～10:40 第11回：小論文と作文の違いを理解する。 6/27(火) 9:00～10:40 第12回：表現方法の工夫を練習する。 プレゼンの原稿を提出してもらいます。 これまでの全てのプリントを提出してもらいます。即日返却。 7/ 4(火) 9:00～10:40 第13回：職業人としての語彙力を豊かにする。 7/11(火) 9:00～10:40 第14回：事前に提出した原稿を基にスピーチを行う。 7/25(火) 9:00～10:40 第15回：総復習並びに定期試験の実施。		
評価方法	条件を満たした出席状況を前提とし、定期試験（選択及び記述式の併用で実施、持ち込みは不可）で6割、授業への取り組み姿勢・授業中の応答、提出されたプリントの記載内容、プレゼンテーションの内容で4割、を基本とし、総合的に評価します。		
受講生へのメッセージ	あなたには十分な能力があります。物事に対して、自分ならどんな論理展開で結論を出し、それをどう表現するかを、意識的に練習する授業です。その際、社会の動きや他人の意見を正確に理解することも必要不可欠です。あなたの持っている素晴らしい頭脳を活性化させ、眠っている能力を開花させましょう。あなたはできる。記録とコミュニケーションは、訓練と技術次第です。 授業は、火曜日9時からです。1限目は大変でしょうが、仕事は仕事、家庭は家庭、そして学校に来たら学生・実習生・受験生としての「勉強」です。サバサバと、明るく元気に授業に臨んでください。その切り替えが仕事にも家庭にも生かされ、あなたの合格につながります。		

市原看護専門学校 看護学科 29回生 (第1学年)

授業科目名	心理学		
時期	令和5年4月14日～7月28日	時間数・単位数	30時間（15回）1単位
講師名			
テキスト	『こころの発達と学習の心理』 啓明出版		
参考書	『狼に育てられた子』『アヴェロンの野生児』『カスパー・ハウザー』		
授業概要	心理学はこれまで人間についての知見を積みあげてきました。その知見のうち、看護領域に関連した内容を取りあげ授業を進めていきます。通常は講義形式ですが、性格検査実習などを取り入れることも予定しています。		
授業計画	第1回	1. 心理学とは	授業オリエンテーション、心理学とは
	第2回	2. 発達心理学	(1) 発達とは (2) 発達の特質
	第3回	2. 発達心理学	(3) 遺伝と環境
	第4回	2. 発達心理学	* 遺伝と環境に関連した事例解説
	第5回	2. 発達心理学	(4) 発達段階の特徴
	第6回	2. 発達心理学	(4) 発達段階の特徴
	第7回	3. 適応心理学	(1) 欲求とは (2) 欲求不満・欲求不満耐性
	第8回	3. 適応心理学	(3) 葛藤 (4) 適応機制
	第9回	4. コミュニケーション	(1) コミュニケーションとは (2) コミュニケーションの種類
	第10回	中間試験	
	第11回	5. 性格心理学	(1) 性格とは (2) 性格の見方
	第12回	5. 性格心理学	(3) 性格の測定法 * 性格検査実習
	第13回	6. 学習心理学	(1) 学習とは (2) 学習過程のプロセス①
	第14回	6. 学習心理学	(2) 学習過程のプロセス②
	第15回	終了試験とまとめ (DVD視聴)	
評価方法	中間試験 40% (遺伝と環境に関連した内容を論述式で持ち込みなしで実施) 終了試験 60% (授業内容に関する内容を自筆ノートのみ持ち込み可で実施)		
受講生へのメッセージ	望ましい受講方法は、板書した内容はノートに写し、それに関連した口頭による説明をよく聞き、必要だと思うことをメモしながら受講することです。後日そのノートを見たときに、その日の授業内容の理解が確認できるようしておくこと。		

市原看護専門学校

看護学科

29 回生(1 年生)

授業科目名	人間関係論		
時期	令和 5 年 4 月 12 日～9 月 13 日	時間数・単位数	30 時間 (15 回)・1 単位
講師名			
テキスト	毎回資料を配布します		
参考書	随時紹介します		
授業概要	看護師が良い人間関係を構築するための、コミュニケーション能力を養う知識やスキルを学び、個々人のコミュニケーション能力をたかめることを目的とします。 具体的には、コミュニケーション理論と参加型学習の方法を学び、グループワークをとおして、自分自身をふり返り、さらに気づきを促し、他者理解、受容、共感の方法を学びます。		
授業計画	4 月 12 日 (水) 第 1 回 看護師における人間関係論 (傾聴・受容・共感) 第 2 回 コミュニケーション論、ユマニチュード 4 月 19 日 (水) 第 3 回 アサーション、リフレーミング 第 4 回 参加型学習方法とメディアリテラシー 5 月 17 日 (水) 第 5 回 院内学級 第 6 回 日本の人権教育 (ハンセン病) 5 月 31 日 (水) 第 7 回 看護とリーダーシップ論 第 8 回 外国の人権教育 7 月 12 日 (水) 第 9 回 看護における意識変容と行動変容 第 10 回 看護における気づきとふり返り 7 月 19 日 (水) 第 11 回 看護における援助的人間関係 第 12 回 看護における援助的人間関係 9 月 6 日 (水) 第 13 回 看護における援助的人間関係 第 14 回 看護における援助的人間関係の発表 9 月 13 日 (水) 第 15 回 評価とテスト		
評価方法	出席率 30%、ふり返り 20%、テスト 50%		
受講生へのメッセージ	ディスカッション、パフォーマンス発表を行うので、積極的な参加を望みます		